5. 産学公連携

5.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 ㎡のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し産業交連携事業を推進した。

平成 25 年度の取り組みは以下のとおりである。

(1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成25年 4月23日	技術研究会「東京都ロボット研究会」総会
平成25年 6月20日～21日	平成 25 年度研究成果発表会
平成25年 9月 2日	重点 4 分野技術フォーラム 「バイオマーカーによるがん診断用医療機器開発」
平成25年 9月 9日	重点 4 分野技術フォーラム 「エネルギー産業参入への糸口を探る」
平成25年 9月20日～21日	INNOVESTA!2013
平成25年10月 1日	重点 4 分野技術フォーラム 「軽量ロボティクス―サービスロボット普及の一戦略として―」
平成25年10月21日	MTEP セミナー「光源・照明機器の輸出入に重要な光計測技術と関連国際規格認証制度への対応～蛍光ランプ、LED 光源、レーザーの輸出促進のために～」
平成25年11月15日	技術セミナー「プラスチック材料の基礎 ―合成から強度特性まで―」
平成25年11月20日	重点 4 分野技術フォーラム 「無線通信の国際基準と将来のアプリケーション」
平成25年12月17日	MTEP セミナー「特許精通シリーズ　開発成果を特許にする編」
平成25年12月18日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ　中国編」
平成26年 2月 8日	技術研究会「循環型技術研究会」 産学公技術交流会　目からうろこ第 10 弾！ ～技術交流会 10 周年　記念講演会～
平成26年 2月13日	第 28 回東京都異業種交流グループ合同交流会
平成26年 2月20日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ　医療機器編」
平成26年 3月 7日	地域結集事業成果報告会
平成26年 3月25日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ　REACH/RoHS 超入門」

(2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成25年 4月16日	2015年に向けたFCV開発の現状と今後の課題	燃料電池開発情報センター
平成25年 6月24日	深海シャトルビークル江戸っ子一号プロジェクトについて	(一社)日本機械学会
平成25年 6月28日	木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
平成25年 8月 1日～2日	Separation Science 2013	日本分析化学会
平成25年 8月28日	日本のものづくり力―世界屈指の企業に聞く―	(一社)日本鉄鋼協会
平成25年8月30日	映像系コンテンツ×異業種コラボレーションセミナー	東京都
平成25年11月9日～10日	サイエンスアゴラ 2013	(独)科学技術振興機構
平成25年12月5日～6日	産業技術連携推進会議　知的基盤部会分析分科会年会	(独)産業技術総合研究所
平成25年12月10日	安全で省エネ社会の構築と中小企業支援	電気学会
平成25年12月13日	最新の制振材料計測評価、解析、適用方法及び振動・騒音解析	制振工学研究会
平成26年 1月20日～21日	超音波による非破壊評価シンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会
平成26年 1月31日	「FPGAが切り開く新アプリ」パワー編	特定非営利活動法人 FPGA コンソーシアム
平成26年 2月 6日～7日	放射線による非破壊評価シンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会
平成26年 2月20日	偏光計測・偏光制御の最新の動向	日本光学会

(3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成25年11月28日～29日	HDMI Plugfest	(一社)組込みシステム技術協会
平成25年 3月18日	第39回発明大賞表彰式	(公財)日本発明振興協会

(4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成25年 7月16日～19日	助成金(新製品･新技術開発、共同研究、創業、海外展開)審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成25年 7月25日～26日	中小企業応援ファンド面接審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成25年 1月29日	平成26年度「新製品新技術開発・海外展開技術支援・市場開拓助成事業」説明会	(公財)東京都中小企業振興公社

5.2　コーディネート事業

コーディネート事業は、平成 21 年 4 月に東京都から都産技研に移管され本部を拠点として事業の推進を図ってきたが、平成 22 年 2 月からは多摩テクノプラザ開設に伴い、多摩テクノプラザを拠点とした多摩地域での事業も実施している。

産学公連携コーディネータは、本部では電機・電子、センサー・システム、機械・金属、情報・通信、環境化学・分析などの分野で 5 名、多摩テクノプラザでは生産技術・機械設計、環境・化学、機械・金属などの分野で 3 名の外部専門家に委嘱し、産学公連携に関わる相談、支援を行った。平成 25 年度の実績は以下のとおりである。

相談件数（件）

合計	内　訳	
	来所	電話、メール
859	368	491

成約件数（件）

合計	内　訳		
	産・学	産・公	産・産
30	11	10	9

5.3　異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

(1)　グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称　技術交流プラザ）の新グループを昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 25 グループ約 350 名の会員が活動している。

平成 25 年度は、本部および多摩テクノプラザにおいて異業種交流グループ会員を募集し、平成 25 年 7 月に新グループを結成した。各グループに専門の助言者を配置して、平成 26 年 3 月まで毎月 1 回交流会を開催し、自社紹介、都産技研施設の見学、講演会などを実施した。

グループ名	開催日	回数（回）	参加者数（人）
本部グループ	7 月～3 月、各 1 回	9	155
多摩テクノプラザグループ	7 月～3 月、各 1 回	9	169

(2)　グループ間交流支援

1)　グループ協議会

グループ協議会は、既存グループが活動状況や計画を報告することでお互いのグループ

活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催している合同交流会の開催についても検討を行い、第29回合同交流会の開催を決定した。

会　議　名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	6月3日	16（21）

2）合同交流会および合同交流会実行委員会

グループ間の交流を深めるために、全グループのメンバーが一堂に会する第29回合同交流会を平成26年2月13日、本部（東京イノベーションハブ、講堂、研修室）にて開催した。本年度は「中小企業は日本を支える力～未来に挑む中小企業～」のテーマのもと、①製品展示会(42社)、②基調講演（演題：これからの中小企業支援の概要と具体的な施策の活用、講師：(一社)首都圏産業活性化協会事務局次長　小林弘幸 氏)、③受発注マッチング、④名刺交換・交流会、⑤新グループ紹介などを実施した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下のとおりである。

会　議　名（開催日）	開催回数（回）	参加者数（人）
第29回合同交流会（2月13日）	1	220
合同交流会実行委員会	5	96

また、本年度は多摩テクノプラザを拠点として活動している3グループが、産業サポートスクエア・TAMAを会場に、平成25年8月8日、第1回の多摩グループ合同交流会を開催し35名が参加した。

3）既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の23グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供など、グループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談について対応した。定例会の開催などで既存異業種交流グループが都産技研を利用した実績は、以下のとおりである。

会　議　名	利用回数（回）	参加者数（人）
定例会など	64	773

5.4　業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業　界　名	開催年月日	企業参加者数 （都産技研・商工部）	内　容
1	区内繊維関連業界	平成25年 7月10日	13 (11)	墨田支所、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社事業を説明後、業界の現状と課題の報告および要望など受けた後、意見交換を行った。
2	多摩繊維関連業界	平成25年 7月12日	13 (11)	繊維・化学グループ、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社事業を説明後、業界の現状と課題および要望を受けた後、意見交換を行った。
3	東部金属熱処理工業組合	平成25年 9月4日	16 (8)	所内見学、技術関連情報などの提供を行った後、熱処理業界から最近の状況、人材育成事業の報告および要望を受けた。
4	東京都椅子張り技能士会	平成26年 2月5日	20 (15)	生活技術開発セクターの紹介および物性試験などの情報提供後、都産技研に対する要望を受けた。
5	超音波応用懇談会	平成26年 2月21日	11 (5)	都産技研の超音波応用技術に関する支援状況を説明後、業界からの要望を中心に意見交換を行った。
6	東京鼈甲組合連合会	平成26年 3月25日	17 (10)	東京都受託研究などの研究、開発報告および成型品の試作実演後、今後の取り組みに向けて意見交換を行った。

5.5　技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など、技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名　　称	設立 年月	活　動　目　的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催回数
1	化学技術研究会	昭和62年 4月	化学技術の向上、相互の技術交換	78 (11)	4
2	静電植毛加工技術研究会	昭和62年 4月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	14 (1)	1
3	超音波応用懇談会	昭和63年 3月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	122 (24)	7
4	PC情報研究会	平成元年 7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	140 (44)	22
5	締結問題研究会	平成6年 2月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	81 (29)	6
6	トライボコーティング技術研究会	平成6年 11月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	132 (16)	5
7	城東デザイン研究会	平成7年 4月	デザインに関する情報収集、デザイン力の向上、製品企画・デザインにおける異業種間の連携促進など	177 (16)	19
8	東京都健康福祉技術研究会	平成8年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	121 (39)	6
9	粉末冶金技術研究会	平成9年 4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究などを実施	73 (3)	2
10	信頼性技術研究会	平成9年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの開催、技術情報交換	110 (20)	7
11	CAD/CAM研究会	平成9年 4月	CAD/CAM ソフトや各種工作機械における連携推進と情報提供	7 (1)	1
12	表面科学交流会	平成10年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	32 (3)	3
13	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成13年 10月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	84 (14)	7

No.	名　　称	設立 年月	活　動　目　的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催回数
14	制御システム研究会	平成14年 4月	制御システム全般について、製品開発に必要な技術力の向上	7 (2)	1
15	照明技術研究会	平成14年 4月	照明技術の研究、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換	15 (9)	1
16	環境技術研究会	平成14年 5月	環境汚染防止技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	84 (49)	4
17	循環型技術研究会	平成14年 7月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	128 (15)	8
18	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成14年 8月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓などの勉強会を行う	26 (7)	2
19	東京温度検出端工業会技術懇談会	平成18年 4月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	21 (3)	1
20	衣服圧研究会	平成21年 4月	ストレッチ素材、ストレッチ製品の市場拡大と国際競争力強化	13 (1)	1
21	デザインマーケティング技術研究会	平成23年 4月	デザイナーのセルフマーケティングについて研究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や営業技術の研究	71 (27)	15
22	東京都ロボット研究会	平成23年 4月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	194 (44)	9
23	航空宇宙部品製造技術研究会(アマテラス)	平成23年 10月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの構築、マーケットの獲得	53 (12)	3
24	塗膜性能評価研究会	平成23年 12月	情報交換、共同調査・研究などを通じ、既存の技術にとらわれない新たな評価方法の検討・普及	12 (3)	1
25	ガラス技術交流会	平成24年 3月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することによる、技術者の活性化や新技術の理解習得など	199 (25)	6
26	次世代自動車技術研究会	平成24年 4月	ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)、燃料電池車、クリーンディーゼル車など、変化する自動車産業界での新たな市場開拓のため情報共有など	20 (3)	2

No.	名　　称	設立 年月	活　動　目　的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催回数
27	感性工学研究会	平成25年 1月	新しい工学技術分野としての感性工学について理解を深め、企業や研究者による製品の感性評価や感性工学技術の情報交換、会員相互による研究の協力体制の確立など	41 (5)	5

5.6　行政等支援機関連携

5.6.1　協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである。

No	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	公益財団法人東京都中小企業振興公社	協定書	平成 18 年　4 月　1 日
		覚書	平成 19 年　1 月　4 日
2	一般社団法人コラボ産学官	協定書	平成 18 年　8 月 10 日
		秘密保持契約書	平成 18 年　9 月　1 日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成 19 年　2 月 26 日
4	公立大学法人首都大学東京	業務協定書	平成 19 年　3 月 15 日
5	学校法人東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成 20 年　4 月　1 日
6	国立大学法人長岡技術科学大学	協定書	平成 20 年　8 月 26 日
		覚書	平成 21 年　8 月　6 日
7	新宿区	協定書	平成 20 年　9 月 22 日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成 20 年 10 月 14 日
9	学校法人芝浦工業大学	協定書	平成 21 年　3 月 12 日
		教育研究協力に関する協定	平成 21 年 11 月 10 日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成 21 年　6 月　3 日
11	港区	協定書	平成 21 年　7 月 16 日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの活用に関する覚書	平成 21 年　7 月 16 日
13	府中市	覚書	平成 22 年　5 月 13 日
14	国連大学サステイナビリティと平和研究所	覚書	平成 22 年 10 月 28 日

No	機関名	協定書・覚書	締結年月日
15	独立行政法人産業技術総合研究所	協定書	平成 22 年 11 月 24 日
16	北区	覚書	平成 23 年 2 月 21 日
17	公益財団法人まちみらい千代田	覚書	平成 23 年 4 月 14 日
18	品川区	協定書	平成 23 年 6 月 1 日
19	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成 23 年 9 月 12 日
20	江東区	協定書	平成 23 年 9 月 14 日
21	朝日信用金庫	協定書	平成 24 年 1 月 27 日
22	一般財団法人機械振興協会	協定書	平成 24 年 3 月 8 日
23	公益財団法人日本発明振興協会	協定書	平成 24 年 4 月 9 日
24	江東信用組合	協定書	平成 24 年 6 月 6 日
25	学校法人東京電機大学	協定書	平成 24 年 7 月 23 日
26	学校法人明星大学	協定書	平成 24 年 10 月 12 日
27	公益財団法人東京都農林水産振興財団	協定書	平成 24 年 12 月 7 日
28	日野市	覚書	平成 25 年 2 月 26 日
29	昭島市	協定書	平成 25 年 3 月 12 日
30	城南信用金庫	覚書	平成 25 年 3 月 13 日
31	一般財団法人化学研究評価機構	協定書	平成 25 年 3 月 21 日
32	さわやか信用金庫	協定書	平成 25 年 4 月 1 日
33	一般社団法人東京工業団体連合会	協定書	平成 25 年 9 月 5 日
34	東京都商工会連合会	協定書	平成 25 年 10 月 22 日
35	西武信用金庫	協定書	平成 25 年 10 月 28 日
36	学校法人東京理科大学	協定書	平成 25 年 11 月 5 日
37	葛飾区	協定書	平成 25 年 11 月 26 日
38	東京都民銀行	協定書	平成 26 年 3 月 4 日
39	独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校	協定書	平成 26 年 3 月 26 日

5.6.2　大学などとの連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

(1) 公立大学法人首都大学東京

・都市科学・産業技術連携戦略会議
　　全体会（1 回）、ロードマップ策定・推進会議（1 回）、フォローアップ部会（4 回）
　　課題マップ策定会議（2 回）

・「安全・安心」分野（平成 23 年度開始）で 3 テーマ、「高度な防災都市」分野（平成 24 年度開始）で 3 テーマの共同研究を実施

・「環境・省エネ技術」分野　3 テーマの普及活動
　「イノベーション・ジャパン 2013」（8 月）
　「朝日ビジネスマッチング 2013」（11 月）
　「第 17 回いたばし産業見本市」（11 月）
　「都市課題解決のための技術戦略プログラム普及セミナー」
　（東京都、都産技研、首都大、公社共催　2 月）

・「安全・安心」分野　3 テーマの普及活動
　「産業交流展 2013」（10 月）

・研究成果発表会（6 月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼

・共同研究 2 テーマ実施

・多摩テクノプラザ「子供科学技術教室」へ講師派遣を依頼（8 月）

・「システムデザインフォーラム 2013」（10 月）後援

・インターンシップ 6 名受け入れ（8～9 月）

・施設公開イベント「INNOVESTA」において連携機関セミナー講演を依頼（9 月）

・多摩テクノプラザ技術交流会 2014 において連携機関セミナー講演を依頼（2 月）

・客員研究員として 2 名登録

・本部見学会（8 月）、多摩テクノプラザ見学会（9 月）

(2) 産業技術大学院大学

・研究成果発表会（6 月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼

・共同研究 1 テーマ実施

(3) 東京都立産業技術高等専門学校

・研究成果発表会（6 月）で発表者派遣

・施設公開イベント「INNOVESTA」において、ロボットに関するイベント協力（6 月）

・共催講座開催「表面粗さ計測と評価方法」（10 月）
　　　　　　　「ISO 規格の「表面性状測定における非接触測定法」に関して」（11 月）

・東京都立産業技術高等専門学校地域連携推進委員　職員委嘱
　（平成 26 年 3 月～平成 27 年 2 月）

(4) 東京都立多摩科学技術高等学校

・科学技術アドバイザー派遣（7 月）
　　テーマ「クリーンエネルギーと燃料電池」
　　講師　表面技術グループ　峯　英一
　　テーマ「音が創る豊かな世界　～身近な音から超音波技術まで～」（3 月）
　　講師　光音技術グループ　服部　遊、神田浩一

(5) 国立大学法人長岡技術科学大学

・実務訓練生1名受け入れ（10月～2月）
・共同研究1テーマ実施

(6) 学校法人芝浦工業大学

・連携大学院生5名受け入れ
・研修生3名受け入れ
・客員教員として8名登録
・研究成果発表会（6月）で発表者派遣
・本部見学会（4月、7月）
・「芝浦ハッケン展」の後援（9月）
・共同研究1テーマ実施

(7) 学校法人東京電機大学

・本部見学会（6月）
・研究成果発表会（6月）で発表者派遣

(8) 学校法人明星大学

・研究成果発表会（6月）で発表者派遣
・学協会連携事業「移動支援機器・福祉技術セミナー」（8月）で2件の講演

(9) 学校法人東京理科大学

・協定締結　11月5日
　包括的な連携のもと、地域の活性化と産業の振興を図るため相互に協力し、地域社会の発展に寄与する
・インターンシップ2名受け入れ

(10) 独立行政法人産業技術総合研究所

・技術経営アドバイザーの推薦と人材交流
・知的資産経営講座への研究員参加
・(独) 産業技術総合研究所臨海副都心センター・研究支援アドバイザーの登録
・「利用者評価を反映した製品開発システム研究会」への都産技研職員委員参加
・研究成果発表会（6月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
・施設公開イベント「INNOVESTA」において、ロボットに関するイベント協力（9月）
・(独) 産業技術総合研究所事業「平成25年度地域産業活性化支援事業（招へい型)」へ都産技研職員派遣（12～2月）

(11) 公益財団法人東京都農林水産振興財団

・研究成果発表会（6月）で発表者派遣
・共同研究1テーマ

(12) 一般社団法人コラボ産学官

・製品開発ラボおよび近隣インキュベーション施設入居者向け製品開発支援講習会

「事業資金調達のノウハウと心構え」(6 月)
・第 9 回(12 月)、第 10 回(3 月)研究成果発表会後援

(13) 一般財団法人機械振興協会
・研究成果発表会(6 月)で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
・(一財)機械振興協会関係者交流会職員参加(12 月)

(14) 一般財団法人化学研究評価機構
・標準化調査研究企画委員会　都産技研職員委員委嘱

5.6.3 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料補助制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成 25 年度の取り組みは以下のとおりである。

(1) 区部との連携
1) 城東地域
①墨田区
・本部見学会(5 月)
②江東区
・都産技研利用料助成を継続実施
・「第 9 回こうとう産学交流会」後援(7 月)
・「the 東京湾岸・起業家交流会 2013」後援およびコーディネータ相談ブース出展(11 月)
・「江東区民祭り」後援(10 月)
③荒川区
・都産技研利用料助成を継続実施
④足立区
・都産技研利用料補助を継続実施
⑤葛飾区
・協定締結　11 月 26 日
相互に企業などの支援に関する業務を連携・協働して実施することにより、地域産業の活性化を図る
・都産技研利用料補助を開始
・城東支所「施設公開」を「葛飾区産業フェア」と同時開催(10 月)

2) 城南地域
①品川区
・都産技研利用料助成を継続実施
・品川区ものづくり懇談会参加(7 月、9 月、12 月)
・品川ビジネスクラブ主催セミナー講師派遣(10 月)
テーマ名「デザインを活用した製品開発」
・品川ビジネスクラブ第 4 回会員交流会参加(10 月)

・「品川区クラスターフェア」参加（2 月）

②大田区

・大田区加工技術展示商談会への出展（6 月）

・城南支所「施設公開」を「おおた研究開発フェア」と同時開催（10 月）

・「おおた研究開発フェア」において研究成果に関する講演を実施。同フェアへの後援（10 月）

・「おおた工業フェア 2014」にパンフレット展示（2 月）

・（公財）大田区産業振興協会評議委員

・東京商工会議所大田支部参与

・（公財）大田区産業振興協会との連携により、4 団体 43 名（うち海外 3 団体 31 名）の見学を受け入れ

3）城北地域

①北区

・都産技研利用料助成の継続実施

・都産技研・北区・板橋区共催セミナー開催「照明技術開発 2 最近の照明技術動向」（12 月）

②板橋区

・板橋産業技術支援センターとインターネットを介した遠隔相談継続

・都産技研・板橋区・北区共催セミナー開催

「初心者のための金属破面の見方と長寿命化技術」（9 月）

・板橋区主催セミナー「発想から販路開拓まで新製品開発を考える」講師派遣（9 月）

・「第 17 回いたばし産業見本市」後援および出展（11 月）

4）都心・副都心地域

①千代田区

・「第 6 回千代田ビジネス大賞」後援（2 月）

・都産技研利用料助成の継続実施

②港区

・都産技研利用料助成の継続実施

③豊島区

・「第 7 回としまものづくりメッセ」への出展（3 月）

(2) 多摩地域との連携

1）八王子市

・八王子地域ものづくり産業活性化協議会に委員として参加(5 月）

2）立川市

・多摩テクノプラザ利用料助成の継続実施

3）府中市

・府中市工業技術情報センターのスマート FON 交流会へ講師派遣（7 月）

・第 24 回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」への出展（10 月）

・第 24 回府中市工業技術展で「ものづくりセミナーin 府中」

（都産技研の研究成果発表会）を開催（10 月）

4) 昭島市

・都産技研利用料助成の継続実施

・昭島市と連携した多摩テクノプラザ見学

・昭島市産業祭り協力および事業紹介など（11 月）

5) 日野市

・「日野おもてなしロボット製作プロジェクト」の実施

日野市内企業、（公大）首都大学東京、多摩信用金庫、都産技研の連携により、下記担当により実施

（公大）首都大学東京：市鳥「カワセミ」をモチーフにしたデザイン

都産技研：開発した T 型ロボットベースの活用

企業：ABS 樹脂から削り出し加工により外装を製作、塗装

6) その他

・「たま工業交流展」への出展（2 月）

(3) 東京都立職業能力開発センターとの連携

①城東職業能力開発センターとの連携

・城東職業能力開発連絡協議会へ 1 名委員派遣（8 月、10 月、12 月）

②城南職業能力開発センター大田校との人材育成協力

職業能力開発センターが保有していない材料強度試験の実技研修を実施（11 月）

③多摩職業能力開発センターとの連携

・都産技研職員向け研修を実施。溶接 10 名、旋盤 7 名（7 月）

・多摩職業能力開発連携協議会へ 1 名委員派遣（6 月）

・多摩テクノプラザ施設公開と「技能祭」を同日開催（10 月）

・庭園施工管理科の生徒の成果展示協力（門松）（12 月）

(4) 金融機関などとの連携

①さわやか信用金庫

・城南支所中心の協定内容を見直し、都産技研全体の内容に変更（平成 25 年 4 月 1 日発効）

・「さわやか信金ビジネスフェア」に出展（6 月）

②朝日信用金庫

・「朝日ビジネスマッチング 2013」ブース出展（11 月）

・施設公開イベント「INNOVESTA」において連携機関セミナーの講演を依頼（9 月）

・本部見学会（4 月、6 月）

③多摩信用金庫

・「第 11 回多摩ブルー・グリーン賞」後援　表彰式参加（12 月）

④西武信用金庫

・協定締結　10 月 28 日

包括的な連携のもと、地域の活性化と産業の振興を図るため相互に協力し、地域社会の発展に寄与する

・「ビジネスフェア from TAMA」に出展（11 月）

・多摩テクノプラザ見学会（3 月）

⑤青梅信用金庫
・「あおしんビジネス支援マッチング大会」に参加（10 月）
⑥西京信用金庫
・展示会に参加し、産学公連携コーディネート相談にコーディネータを派遣（計 3 回）
⑦城南信用金庫
・「2013“よい仕事おこし”フェア」in 東京国際フォーラム出展（8 月）

(5) その他の連携
①東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会
・第 5 回東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会委員（5 月）
・協議会ホームページに、関連事業として都産技研のデザインセミナー（商品企画基礎講座、販売促進企画講座）、重点 4 技術分野フォーラム事業「バイオ応用技術編」を掲載
・「利用者評価を反映する製品開発システム研究会」にシステムデザインセクター職員が委員として参加（4 月～）
②一般社団法人首都圏産業活性化協会
・首都圏イノベーション推進協議会に委員として参加（9 月、10 月、11 月）
・都市機能活用型産業振興プロジェクト推進事業「計測・分析器」に協力
・「地域イノベ・技術連携交流会」出展・参加（10 月）
・3D プリンター研究会設立第 1 回講演見学会を実施（多摩テクノプラザ、2 月）

(6) 自治体が実施する技術審査事業への協力
・港　区：港区新製品・新技術開発支援事業（2 回)、商品モニター調査支援事業（1 回）
・新宿区：新宿ものづくりマイスター認定事業実技審査（3 回）
・文京区：文京区新製品等開発・販路拡大補助事業（1 回）
・台東区：台東区新製品新技術開発支援事業等審査会（2 回）
・江東区：江東区中小企業新製品・新技術開発補助事業（2 回)、江東区産学連携共同研究（1 回）
・品川区：品川区環境ビジネス支援事業（1 回）、新製品・新技術開発促進事業（3 回）、メードイン品川 PR 事業（1 回）
・大田区：大田区新製品・新技術開発支援事業審査会（5 回)、中小企業新製品・新技術コンクール審査会（5 回）
・北　区：北区新製品・新技術開発支援事業（3 回)、北区きらりと光るものづくり顕彰（1 回）
・荒川区：荒川区新製品・新技術大賞（2 回)、経営革新等支援事業補助金審査（3 回）
・板橋区：板橋製品技術大賞（6 回)、新製品・新技術開発チャレンジ支援事業（6 回)、Fine Works 板橋ものづくり委員会（8 回)、板橋青年優秀技能者技術者表彰（1 回）
・足立区：あだちブランド認定選考委員会（3 回)、足立区研究開発補助金（1 回）
・葛飾区：葛飾区優良工場審査会（2 回)、葛飾区新製品・新技術開発等補助金交付審査会（6 回）、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」審査（3 回）
・江戸川区：えどがわ産業発明コンクール（1 回）
・青梅市：おうめものづくり支援事業補助金交付審査会（1 回）

・府中市：府中市新製品・新技術開発支援事業（1 回）
・町田市：トライアル発注認定制度(1 回)

5.6.4　公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成 18 年、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「公社」という。）と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京都城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMA では、多摩テクノプラザが主体となる「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

(1) 公社本社との連携
- 共催セミナー「企業の DNA を技術と経営でつむぐには」(1 月)
- 平成 26 年度公社助成事業説明会を本部東京イノベーションハブで開催（1 月）
- 各種助成事業などでの技術審査協力（審査会委員、書類審査、面接審査）
- 都市課題解決のための技術戦略プログラム　普及セミナー
（東京都、都産技研、(公大)首都大学東京、公社共催　2 月）
- 都産技研「異業種グループ合同交流会」(公社後援）に公社ブースを設置し、公社の事業 PR を実施（2 月）
- 「平成 25 年度東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞」後援（11 月）
- ライフサポートフェア後援（2 月）
- 連絡推進会議（3 月）
- 本部および多摩テクノプラザ見学会（随時）
- 公社広報誌「アーガス 21」への記事掲載
「あらためて知っておきたい技術のはなし」(全 3 回)
- 「都産技研メールニュース」への公社記事掲載
- 各種事業案内チラシなどを相互に配架　　など

(2) 地域中小企業振興センター内での連携
- 実践ものづくり中核人材育成事業「売れる製品開発道場」支援（城南支所）
- 施設公開(城東・城南支所)の共催
- 技術支援と経営相談の連携相談および実地技術支援を実施
- 公社事業へのポスターやチラシなどのデザイン協力
- 運営協議会・連絡協議会、合同消防訓練の実施　　など

(3) 「産業サポートスクエア・TAMA」での連携
- 産業サポートスクエア・TAMA　ウェルカムデーの合同開催（10 月）
ウェルカムデー時、公社と連携したセミナーの開催
「CE マーキング・改正 RoHS 入門」、「モノづくりの力」
- 公社コラボレーション交流会および公社コラボレーション研究会へ産学公連携コーディネータを派遣（10 月）
- 「たま工業交流展」への出展協力（2 月）

・避難訓練の合同実施
・都立職業能力開発センター講師による、都産技研職員を対象とした研修会を実施「アーク溶接」「旋盤」(7 月)
・農業振興課「都民交流事業（食育事業)」事業実演への協力（12 月）
・都産技研主催セミナー「世界を変えるネットワークの世界 M2M」経営サポート館セミナー室を使用（7 月）
・「多摩テクノプラザ技術交流会 2014」経営サポート館セミナー室を使用（2 月）
・「多摩テクノプラザ開設記念セミナー」経営サポート館セミナー室を使用（2 月）
・都産技研主催セミナー「3D プリンターの最前線」経営サポート館セミナー室を使用（2 月）

(4) 多摩・産業コミュニティー活性化プロジェクトへの協力と連携

東京都の都市機能活用型産業振興プロジェクト推進事業の一環として、公社多摩支社が推進機構事務局となり、東京都および都産技研が協力・連携して成長産業分野ごとのコミュニティーの形成を促進した。

・各推進機構に技術専門家として担当者を配置した活動支援
・各推進機構の事業進行を検討する連絡会議、戦略会議への参加

(5) 東京都知的財産総合センターとの連携

・東京都知的財産総合センター（以下、「知財センター」という。）の専門相談員による特許相談（面談、電話）を本部相談ブースで継続実施
・都産技研「第 29 回東京都異業種交流グループ合同交流会」(公社後援）に知財センターブースを設置し、知財センターのプレゼンと展示 PR を実施（2 月）
・広域首都圏輸出製品技術支援センター無料知財セミナーで講演を依頼（12 月）

5.6.5　首都圏公設試験研究機関との連携

平成 14 年度より東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県の公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）が連携し、都県域の枠にとらわれず、域内の中小企業の技術支援をするために、首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））を設立した。平成 20 年度からは横浜市も参加し、5 機関体制となった。また、公設試では、平成 23 年度より長野県、平成 25 年度より、栃木県、群馬県、山梨県のほか、山梨県富士工業技術センターがオブザーバー機関として参加している。TKF ではウェブサイトの運営や、「繊維評価技術」「IT・情報」「微細加工技術」「高分子材料」「デザイン」「熱処理・表面処理」「バイオ技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動を通じて、相互の交流を進めている。

連携の具体的な方向性などについて検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、TKF 事業の成果発表の場として TKF フォーラムを企画し、連携の充実を図っている。

	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成 25 年 6 月 14 日	長野県工業技術総合センター	5 機関（都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、横浜市工業技術支援センター） オブザーバー機関（関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研究所、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、山梨県工業技術センター、山梨県富士工業技術センター、長野県工業技術総合センター） 経済産業省、茨城県工業技術センター、新潟県工業技術総合研究所	43 名
2	平成 25 年 9 月 6 日	ちば仕事プラザ（千葉市）	5 機関、オブザーバー機関 茨城県工業技術センター、新潟県工業技術総合研究所	29 名
3	平成 25 年 11 月 29 日	日本大通り 7 ビル（横浜市）	5 機関、オブザーバー機関	26 名
4	(TKF フォーラム) 平成 26 年 2 月 14 日	埼玉県産業技術総合センター	5 機関、オブザーバー機関	148 名

また、他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表タイトルなどは以下のとおりである。

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
1	CFRP 製環状ばねの静的および疲労特性	西川康博	平成 25 年 7 月 31 日	千葉県産業支援技術研究所	千葉県産業支援技術研究所　平成 25 年度研究成果発表会
2	高価な貴金属未使用の Co、Ce 系酸化物触媒の製品化に向けて	染川正一	平成 25 年 7 月 31 日	千葉県産業支援技術研究所	千葉県産業支援技術研究所　平成 25 年度研究成果発表会
3	ダイヤモンドバイトによる金型用網の鏡面加工	藤巻研吾	平成 25 年 10 月 3 日	埼玉県産業技術総合センター	平成 25 年度 SAITEC 研究発表会

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
4	光刺激ルミネッセンス法、熱ルミネッセンス法および電子スピン共鳴法を使用したダンボール梱包材の放射線照射履歴の検知	関口正之	平成 25 年 10 月 24 日	神奈川県産業技術センター	平成 25 年度　神奈川県ものづくり技術交流会
5	一般家庭から排出されるプラスチックのマテリアルリサイクル事例	安田　健	平成 25 年 10 月 25 日	神奈川県産業技術センター	平成 25 年度　神奈川県ものづくり技術交流会
6	センシングデータの傾向に基づいた群制御による省電力化手法	仲村将司	平成 25 年 10 月 25 日	神奈川県産業技術センター	平成 25 年度　神奈川県ものづくり技術交流会

5.6.6　産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。

産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

平成 25 年度の参加実績は以下のとおりである。

	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成 25 年 5 月 22 日	製造プロセス部会　メカトロニクス分科会共催 第 9 回地域交流ワークショップ	つくば国際会議場
2	平成 25 年 5 月 30 日～ 5 月 31 日	ナノテクノロジー・材料部会　繊維分科会　総会	京都市産業技術研究所
3	平成 25 年 6 月 13 日～ 6 月 14 日	製造プロセス部会　第 20 回表面技術分科会	北海道立道民活動センター
4	平成 25 年 6 月 27 日～ 6 月 28 日	ナノテクノロジー・材料部会　繊維分科会　繊維技術研究会	都産技研 本部
5	平成 25 年 6 月 27 日～ 6 月 28 日	ナノテクノロジー・材料部会　セラミックス分科会 第 60 回総会	都産技研 本部
6	平成 25 年 6 月 27 日～ 6 月 28 日	ライフサイエンス部会　第 13 回デザイン分科会	岩手県工業技術センター
7	平成 25 年 7 月 18 日	第 61 回繊維部会デザイン研究会	岐阜県毛織工業協同組合 毛織会館
8	平成 25 年 9 月 19 日	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会主催 第 15 回医療福祉技術シンポジウム	産業技術総合研究所 臨海副都心センター
9	平成 25 年 9 月 26 日～ 9 月 27 日	情報通信・エレクトロニクス部会　情報技術分科会 情報通信研究会	福井県工業技術センター
10	平成 25 年 10 月 10 日～ 10 月 11 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 7 回木質科学分科会	福岡県柳川市 かんぽの宿　柳川
11	平成 25 年 10 月 10 日～ 10 月 11 日	情報通信・エレクトロニクス部会　情報技術分科会 第 7 回音・振動研究会	栃木県宇都宮市　ホテル サンシャイン宇都宮

	開催年月日	会議名	開催場所
12	平成 25 年 10 月 16 日～ 10 月 17 日	産技連研究連携支援事業「アルミニウム鋳物高品質化のための内部評価 WG」第 1 回会議	北海道立総合研究機構 工業試験場
13	平成 25 年 10 月 24 日～ 10 月 25 日	第 18 回電磁環境分科会および第 23 回 EMC 研究会	富山県高岡市 高岡商工会議所
14	平成 25 年 10 月 24 日～ 10 月 25 日	ナノテクノロジー・材料部会　ガラス材料技術分科会第 7 回総会	福岡共同公文書館
15	平成 25 年 10 月 31 日～ 11 月 1 日	製造プロセス部会　第 21 回塗装工学分科会	広島市工業技術センター
16	平成 25 年 10 月 31 日	医療福祉技術分科会タスクフォース第 1 回ミーティング	産業技術総合研究所 つくば中央第 7 事業所
17	平成 25 年 11 月 7 日～ 11 月 8 日	ナノテクノロジー・材料部会　繊維分科会繊維試験法研究会	鹿児島県工業技術センター 大島紬部
18	平成 25 年 11 月 8 日	関東甲信越静地域部会総会・産業技術分科会 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議	埼玉県産業技術総合センター
19	平成 25 年 11 月 15 日	繊維分科会関東・東北地域連絡会生産技術研究会	群馬県繊維工業試験場
20	平成 25 年 11 月 19 日	情報通信・エレクトロニクス部会　第 7 回情報技術分科会および第 11 回組込み技術研究会	都産技研　本部
21	平成 25 年 11 月 21 日～ 11 月 22 日	ナノテクノロジー・材料部会　第 51 回高分子分科会	熊本県熊本市 KKR ホテル熊本
22	平成 25 年 11 月 21 日～ 11 月 22 日	情報通信・エレクトロニクス部会　第 9 回電子技術分科会　第 14 回実装・信頼性技術研究会	石川県工業試験場
23	平成 25 年 11 月 22 日	ナノテクノロジー・材料部会　繊維分科会　関東・東北地域連絡部会　繊維測定技術研究会	茨城県結城市 結城市民情報センター
24	平成 25 年 11 月 27 日～ 11 月 28 日	ナノテクノロジー･材料部会　第 54 回素形材分科会	愛知県産業労働センター
25	平成 25 年 12 月 5 日～ 12 月 6 日	知的基盤部会 分析分科会年会	都産技研　本部
26	平成 25 年 12 月 12 日～ 12 月 13 日	知的基盤部会　計測分科会　第 45 回温度･熱研究会	埼玉県熊谷市 マロウドイン熊谷
27	平成 26 年 1 月 30 日～ 1 月 31 日	環境・エネルギー部会　分科会・研究会 合同総会	産業技術総合研究所 つくば中央
28	平成 26 年 2 月 6 日	医療福祉技術分科会タスクフォース第 2 回ミーティング	産業技術総合研究所 臨海副都心センター
29	平成 26 年 2 月 26 日	第 54 回産業技術連携推進会議総会	砂防会館

また、各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果などの発表を行った。発表タイトルなどは以下のとおりである。

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
1	システムデザインセクターの取組み、ブランド確立実践ワークショップについて	角坂麗子	平成25年6月27日	岩手県工業技術センター	ライフサイエンス部会第13回デザイン分科会
2	新たなべっ甲商品の開発､FABによる新商品開発	上野明也	平成25年6月27日	岩手県工業技術センター	ライフサイエンス部会第13回デザイン分科会
3	ガラス製品の破損事故解析	上部隆男	平成25年6月28日	都産技研　本部	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第60回総会
4	東京スカイツリー観光グッズの製品開発	平山明浩	平成25年7月18日	岐阜県毛織工業協同組合　毛織会館	第61回繊維部会デザイン研究会
5	東京都における鹿害問題と農公連携事業	山口隆志	平成25年9月27日	福井県工業技術センター	情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会情報通信研究会
6	情報プライオリティに基づく無線センサネットワークの動的経路制御	中川善継	平成25年9月27日	福井県工業技術センター	情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会情報通信研究会
7	新築住宅におけるVOCの傾向とTVOCの評価	水越厚史	平成25年10月10日	福岡県柳川市かんぽの宿　柳川	ナノテクノロジー・材料部会 第7回木質科学分科会
8	振動によって発生する放射音の評価試験について	宮入　徹	平成25年10月10日	栃木県宇都宮市ホテルサンシャイン宇都宮	情報通信・エレクトロニクス部会　情報技術分科会 第7回音・振動研究会
9	東京都におけるアルミニウム関連企業への技術支援	佐藤健二	平成25年10月16日	北海道立総合研究機構工業試験場	産技連研究連携支援事業「アルミニウム鋳物高品質化のための内部評価WG」第1回会議
10	三相交流VHF LISNの効果と考察	須藤　翼	平成25年10月25日	富山県高岡市高岡商工会議所	第18回電磁環境分科会および第23回EMC研究会
11	EMCサイトにおけるISO17025認定取得での課題と今後の展開	髙橋文緒	平成25年10月25日	富山県高岡市高岡商工会議所	第18回電磁環境分科会および第23回EMC研究会
12	ガラス破断時の初期き裂とミラー半径の相関について	上部隆男	平成25年10月25日	福岡共同公文書館	ナノテクノロジー・材料部会ガラス材料技術分科会第7回総会
13	物理強化ガラスの破損	増田優子	平成25年10月25日	福岡共同公文書館	ナノテクノロジー・材料部会ガラス材料技術分科会第7回総会
14	「アモルファス炭酸カルシウムの結晶化」	吉野　徹	平成25年10月25日	福岡共同公文書館	ナノテクノロジー・材料部会ガラス材料技術分科会第7回総会
15	塗装の特定ものづくり基盤技術指定に係る効果と活用	木下稔夫	平成25年10月31日	広島市工業技術センター	製造プロセス部会第21回塗装工学分科会
16	黒色顔料と上塗り漆の有無による紫外線曝露後の形態変化	神谷嘉美	平成25年10月31日	広島市工業技術センター	製造プロセス部会第21回塗装工学分科会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
17	平成25年度染色堅ろう度関係 JIS 改正について	朝倉　守	平成 25 年 11 月 7 日	鹿児島県工業技術センター大島紬部	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会繊維試験法研究会
18	生活技術開発セクター新規導入機器と取り組みについて	木村千明	平成 25 年 11 月 7 日	鹿児島県工業技術センター大島紬部	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会繊維試験法研究会
19	染色加工におけるマイクロバブル技術の活用	榎本一郎	平成 25 年 11 月 15 日	群馬県繊維工業試験場	繊維分科会関東・東北地域連絡会生産技術研究会
20	イミュニティ試験による組込み機器の診断機能の検証：モバイルロボットに有用な ESD 試験法	村上真之	平成 25 年 11 月 19 日	都産技研　本部	情報通信・エレクトロニクス部会第 7 回情報技術分科会および第 11 回組込み技術研究会
21	動画像中の害鳥認識方法について	大平倫宏	平成 25 年 11 月 19 日	都産技研　本部	情報通信・エレクトロニクス部会第 7 回情報技術分科会および第 11 回組込み技術研究会
22	プラスチックの耐候性に関する共同研究報告	清水研一	平成 25 年 11 月 21 日	熊本県熊本市 KKR ホテル熊本	ナノテクノロジー・材料部会第 51 回高分子分科会
23	MPS-LSPR ガスセンサの開発	加澤エリト	平成 25 年 11 月 21 日	石川県工業試験場	情報通信・エレクトロニクス部会　第 9 回電子技術分科会　第 14 回実装・信頼性技術研究会
24	クレーム事例紹介 タオルの吸水性低下について	小柴多佳子	平成 25 年 11 月 22 日	茨城県結城市 結城市民情報センター	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会　関東・東北地域連絡部会繊維測定技術研究会
25	岩手県との連携事例－アルミニウム合金溶湯の品質評価－	佐藤健二	平成 25 年 11 月 27 日	愛知県産業労働センター	ナノテクノロジー･材料部会第 54 回素形材分科会
26	LA-ICP-TOFMS による微小試料分析	林　英男	平成 25 年 12 月 5 日	都産技研　本部	知的基盤部会 分析分科会年会
27	Xe フラッシュアナライザーによる熱拡散率測定の信頼性評価	沼尻治彦	平成 25 年 12 月 12 日	埼玉県熊谷市 マロウドイン熊谷	知的基盤部会　計測分科会　第 45 回温度・熱研究会
28	熱電対による表面温度測定の誤差評価	中島敏晴	平成 25 年 12 月 12 日	埼玉県熊谷市 マロウドイン熊谷	知的基盤部会　計測分科会　第 45 回温度・熱研究会
29	バイオソープションによるレアメタル回収	小沼ルミ	平成 26 年 1 月 30 日	産業技術総合研究所　つくば中央	環境・エネルギー部会分科会・研究会 合同総会

5.6.7　学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成25年度に実施した事業は以下のとおりである。

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者（名）	会場
1	平成25年4月16日	(一社)燃料電池開発情報センター	FCVフォーラム	238	東京イノベーションハブ
2	平成25年6月24日	(一社)日本機械学会関東支部東京ブロック	深海シャトルビークル江戸っ子一号プロジェクトについて	43	東京イノベーションハブ
3	平成25年6月28日	木材塗装研究会：(一社)色材協会、(公社)日本木材加工技術協会	木材塗装基礎講座	89	東京イノベーションハブ
4	平成25年7月26日	(一社)日本塑性加工学会	成形シミュレーションのための材料試験	75	東京イノベーションハブ
5	平成25年8月1日～8月2日	(公社)日本分析化学会	Separation Sciences 2013	74	東京イノベーションハブ
6	平成25年8月8日	日本福祉工学会	移動支援機器・福祉技術セミナー	40	531会議室
7	平成25年8月28日	(一社)日本鉄鋼協会	日本のものづくり力 —世界屈指の企業に聞く—	103	東京イノベーションハブ
8	平成25年9月5日	マテリアルライフ学会	表面—界面物性研究会2013秋季講演会	20	研修室243
9	平成25年10月4日	(公社)日本セラミックス協会　資源環境関連材料部会	リサイクルと環境 ～機能性材料の開発と評価方法～	40	531会議室
10	平成25年11月27日	(公社)日本セラミックス協会　資源環境関連材料部会	セラミックス材料の試料前処理技術と測定技術	27	531会議室
11	平成25年12月10日	(一社)電気学会	安全で省エネ社会の構築と中小企業支援	46	東京イノベーションハブ
12	平成25年12月12日	(一社)表面技術協会	これからのものづくりと表面技術	40	城南支所東京都研修室
13	平成25年12月13日	制振工学研究会	最新の制振材料計測評価、解析、適用方法及び振動・騒音解析	38	東京イノベーションハブ
14	平成26年1月15日	(一社)表面技術協会	ドライ／ウェットプロセスによる超撥水性／超親水性研究の最新動向	27	東京イノベーションハブ
15	平成26年1月20日～1月21日	(一社)日本非破壊検査協会	超音波による非破壊評価シンポジウム	121	東京イノベーションハブ
16	平成26年1月31日	(特非)FPGAコンソーシアム	第8回東京FPGAカンファレンス2014 with jプログラマブルデバイスプラザ	68	東京イノベーションハブ

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者（名）	会場
17	平成 26 年 2 月 6 日～ 2 月 7 日	(一社)日本非破壊検査協会	放射線による非破壊評価シンポジウム	50	東京イノベーションハブ
18	平成 26 年 2 月 20 日	日本光学会	偏光計測・偏光制御の最新の動向	47	東京イノベーションハブ

また、各連携事業において、都産技研の事業紹介や研究成果などの発表を行った。発表タイトルなどは以下のとおりである。

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事長 片岡正俊	平成 25 年 4 月 16 日	(一社)燃料電池開発情報センター
塗装工程の組み方とその役割 ―木地調整から仕上までの各工程の目的とポイントを解説―	村井まどか	平成 25 年 6 月 28 日	木材塗装研究会：(一社)色材協会、(公社)日本木材加工技術協会
塗装関連機器設備の紹介	木下稔夫	平成 25 年 6 月 28 日	木材塗装研究会：(一社)色材協会、(公社)日本木材加工技術協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事長 片岡正俊	平成 25 年 7 月 26 日	(一社)日本塑性加工学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	瓦田研介	平成 25 年 8 月 1 日～ 8 月 2 日	(公社)日本分析化学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	澤近洋史	平成 25 年 8 月 8 日	日本福祉工学会
プロダクトイノベーションで世界に勝つものづくり	理事長 片岡正俊	平成 25 年 8 月 28 日	(一社)日本鉄鋼協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター表面技術分野の研究紹介	木下稔夫	平成 25 年 9 月 5 日	マテリアルライフ学会
FPD 用ガラスの再資源化技術	小山秀美	平成 25 年 10 月 4 日	(公社)日本セラミックス協会　資源環境関連材料部会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事長 片岡正俊	平成 25 年 11 月 27 日	(公社)日本セラミックス協会　資源環境関連材料部会
生活環境に調和した小型省エネルギー機器の開発	三上和正	平成 25 年 12 月 10 日	(一社)電気学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター城南支所事業紹介	上本道久	平成 25 年 12 月 12 日	(一社)表面技術協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター及び表面技術グループ紹介	木下稔夫	平成 26 年 1 月 15 日	(一社)表面技術協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	伊東洋一	平成 26 年 1 月 20 日～ 1 月 21 日	(一社)日本非破壊検査協会

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
FPGA向け高位合成手法の実践活用	岡部　忠	平成26年 1月31日	(特非)FPGAコンソーシアム
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	中村　優	平成26年 2月6日～ 2月7日	(一社)日本非破壊検査協会
イントロダクトリートーク	澤近洋史	平成26年 2月20日	日本光学会